

## 第6回「戦争と医の倫理」の検証を進める会・世話人会報告

- ◇日時 2010年10月24日(日)11時～16時30分  
◇場所 東京保険医協会 会議室  
◇参加者 石川徹、西山勝夫各代表世話人、赤羽根巖、小俣和一郎、小島荘明、中泉聡志、肥田泰、光石忠敬、山口研一郎、吉中丈志各常任世話人、住江憲勇事務局長、飯塚譲、刈田啓史郎、小松美彦、末永恵子、田中智彦、松村高夫各世話人(事務局)相場康文、木村徳秀、杉浦秀明、原文夫、室井正、小林耕治各氏

◇議長 石川徹代表世話人

### ◇報告・協議事項

#### 1. 前回会議報告の確認について

第5回世話人会(10.8.22)会議報告は了承。

#### 2. 前回世話人会以降の主な活動報告について

##### (1) ティル・バステアン氏と直接の面談について

8月28日(土)、IPPNW スイス・バーゼル大会で、大会に参加した当会の武田勝文世話人、事務局の遠藤隆氏(民医連事務局次長)、鈴木沙波氏(保団連事務局)が、ティル・バステアン氏と会場で直接面談し、招聘についての内容をあらためて確認した。

##### (2) 長島昭久防衛政務官への要請について

9月4日(土)、塩安代表世話人と事務局の木村氏(東京保険医協会事務局長)が、立川市にある長島昭久議員事務所を訪問し、要請書を提出し要請した。

##### (3) 矢崎義雄第28回日本医学会総会会頭への要請について

10月1日(金)、藤末衛世話人(民医連会長)と、事務局の長瀬文雄(民医連事務局長)、遠藤隆(民医連事務局次長)各氏が、表敬訪問の機会に、当会からの要請書も直接手渡しの上要請した。懇談では、会頭より医学会総会の運営機構などとの関係から現状では企画に反映させるのは困難との意向が示された。

##### (4) 医学会総会学術展示会場の出展申込と返事、今後の対応について

8月23日(月)、医学会総会学術展示への「出展申込書」を住江憲勇事務局長名で提出。これに対し9月14日(火)付、影山恵一事務局長名で、「展示の主旨が異なるため意に沿えない」旨の返事が寄せられた。世話人会では、この理由では納得しがたいので、あらためて展示委員会責任者との面談を要請すること。それでも先方が断るときは、会として遺憾の意を表することとした。

##### (5) 日本看護歴史学会、日本赤十字看護学会への賛同、協力のお願について

9月1日(水)、日本看護歴史学会、日本赤十字看護学会に賛同、協力のお願いを依頼した。これに対し、日本看護歴史学会からは賛同し公表には同意する、日本赤十字看護学会からは賛同はできないが当会の活動を会で紹介する、との回答をいただいた。

##### (6) 保団連医療研究集会・「戦争と医の倫理」シンポジウムについて

10月10日(日)、保団連主催・当会協力による表題の市民公開のシンポジウムを開催した。医学生や市民を含む参加者は180人でほぼ会場いっぱいとなった。参加した医学生のアンケートでは、「医学犯罪の講義を受けたことなく大変ショックな内容。医学教育でも位置づけてほしい」などの声が寄せられたことを紹介し、今後の活動に反映させていくことを確認した。

### 3. 当会独自企画案の具体化について

#### (1) A、B、C各班別の検討結果の報告について

##### ①A班（歴史検証）報告の要点（報告者：吉中丈志常任世話人）

A班の各課題別検討チームで作業した内容として、「加害の史実」チーム、「戦争協力体制」チーム、「隠蔽と免責」チーム、「医学教育に関するアンケート」チームでの作業概要が報告された。その上で確認した要点は下記の通り。

##### \*パネル展示について

上記の検証作業を土台に、①展示会場が確定次第、展示可能なパネル枚数と全体の構成を整理する。②作成形式は前回の方法を踏襲する。③C班の「医療倫理」関連のパネル展示も前述の関係で調整する。④作成日程は12月中には項目と構成を提示し世話人会で検討する。⑤パネルとは別に、来場者に配布できるパネル資料を作成する。

##### \*パネル展示の会場について

山田朗・明治大学教授に依頼中で、明治大学駿河台キャンパスの「アカデミーコモン」を予定したい、とのお話をいただいている（学内での正式許可は使用3ヶ月前）。

11月4日（金）に、山田教授と直接お会いし当会の希望を含めて相談する。

##### \*「医学教育に関するアンケート」について

出された修正意見を反映して整理し、国内の大学医学部、医科大学には速やかに実施する。中国については、731部隊罪証陳列館・金成民館長と相談する。ドイツについては、前回の「医学教育アンケート結果」「医学教育」誌掲載論文のドイツ語訳などを、市野川世話人、前回担当された池田世話人等の協力をいただいで準備し実施する。

##### \*731部隊関連の保有映像（DVD）とその活用について

前回使用の731部隊関連保有映像（DVD）の紹介があり、今回もパネル展示とあわせて、来場者に見ていただけるよう準備する。

##### ②B班（国際シンポジウム）報告の要点（報告者：小俣和一郎常任世話人）

国際シンポジウムの準備などについて、下記の報告があり確認した。

##### \*ドイツからの招聘者を1名とすることについて

ティル・バスティアン氏とは直接面談して、来日を再確認できたこともあり、ドイツのパネリストは1名とする。なお、今後のドイツとの交流も考慮し、クレー氏には小俣常任世話人から資料を送り打診したが、まだ返答はない。

##### \*通訳の方法、および翻訳について

招聘を1名とした関係で、通訳は随時通訳方式とし、同時通訳の機材等は予定しない。随時通訳とした場合の通訳者、および講演原稿の日本語訳、ドイツ語訳を専門業者に依頼した場合の見積もりを取り、今後検討する。

##### \*国際シンポジウムの記録、およびドイツ語訳への対応について

記録は著作権との関係も考慮しつつ、当会が団体として活動している主旨もふまえて準備する。その一つとして、小俣常任世話人、小松、市野川、田中各世話人などが「岩波ブックレット」の編集者と知人でもあり、出版の可能性について打診する。

また、来年のパネル集のドイツ語訳を制作するとした場合の依頼者の候補として、ヴォルフガング・シュヴェントカー教授（2002年大阪大学教授として来日。日本の歴史・文化を多数のドイツ語著書で紹介している）に、西山代表世話人が本人との連絡方法などを調査し打診する。

##### \*映像関係での記録などについて

映画制作会社「青銅プロダクション」より、ドキュメンタリー映画「日独裁判官物語」

を参考例として検討の打診が寄せられた。保団連の集会等で音響関係を担当している「尾関企画」を含めて、映像記録としてどのような方法（費用を含む）があるのか、小俣常任世話人、住江事務局長が担当し面談する。

また、映像制作会社「クリエイティブ21」より、NHKの特集番組（1時間）として「戦争と医師・医学者」（仮題）ができないか検討中ということで、明治大学登戸研究所資料館よりの紹介で相談があり、小俣常任世話人、住江事務局長が担当し面談する。

\*ドイツ大使館等との接触について

来年は「日独交流150周年」で、今年から多様なイベントが実施、あるいは予定されている。この機会に、在日ドイツのプレスでの情報発信も含めて、ドイツ大使館とも接触を図る。当面、事務局で情報収集にあたる。

\*招聘者を含む宿泊先の予約について

宿泊先は、東大の会場にも近いお茶の水の「東京ガーデンパレス」を予定する。

### ③C班（医療倫理）報告の要点（報告者：山口研一郎常任世話人）

C班は、10月9日（土）に、C班担当者の臨時会議を行い、そこで確認した展示の趣旨と内容が報告された。その柱は下記の4点。

\*大まかな内容と担当者

- ①医療倫理、生命倫理（田中、小松各世話人）
- ②現代の日常診療（飯塚世話人）
- ③先端医学、生命科学（山口、赤羽根各常任世話人）
- ④改めて731部隊とは何か（光石常任世話人）

\*検討の予定とパネル枚数などの調整について

今回は、素案作成の担当者から問題提起し、検討中であること。パネル全体の構成との関係で、医療倫理関係をどのように全体に関連させるかの検討と、展示枚数の調整が必要で、次回以降の世話人会で検討する。

## 4. 「戦争と医の倫理」の検証の現段階について（試案、私案）、用語集について

西山代表世話人より、10月10日開催の保団連医療研究集会・「戦争と医の倫理」シンポジウムでコーディネーターを担当した経験から、当会が掲げる「検証」の定義、評価の指標と尺度、検証の到達度、検証を進める意義を整理する試案（私案）を提示したい。

また、当会で使用する用語についても定義・解釈などを統一する必要があるとして、用語集の例を示された。

以上の提案を受けたが討論時間がないため、今後整理していくことを確認した。

## 5. グアマテラでの生体実験に関する米国の動きと対応について

浜野研三世話人（関西学院大学教授）より、前回のシンポジウムで来日したハーバード大学のウイクラ教授から、「グアマテラにおける生体実験（新薬実験のため、患者らを性病に感染させ実験した）に、米国オバマ大統領が謝罪（国務長官・厚生長官も共同声明）したことへの論説を書いているが、日本でも何らかの見解を表明しては」との主旨のメールをいただいた。日本でも、米国政府の今回の措置を評価しつつ、731部隊資料を隠蔽した事実と謝罪を求めるなどの対応を検討してほしい、との意見が寄せられた。

しかし、討論時間がなかったため、各自の意見を浜野世話人に寄せていただくことと

した。

## 6. 来年4月までの主な課題と推進計画について

事務局より、来年4月までの主な課題、作業の主な目標と日程（案）を提案した。これらの主な課題と推進計画を念頭において、活動を具体化していくこととした。

## 7. 医学会や防衛省への資料公開要請などについて

この間の対応は、前述の通りで前進が見られない。しかし、今後とも対応の幅を広げて要請できるよう検討することとした。

## 8. 世話人の追加、賛同・募金状況などについて

### (1) 世話人会の体制について

下記の二人を世話人としてお願いすることを確認した。

- ・山田 朗氏 明治大学平和教育登戸研究所資料館館長・明治大学教授
- ・渡辺賢二氏 明治大学講師

### (2) 賛同、募金の到達状況報告等について

前回以降の到達状況を文書報告した（内容は省略）

## 9. その他

### (1) 次回世話人会の予定（年内の開催日程）

2010年11月28日（日）14時～17時 保団連会議室で開催。

（この日は、全体会議のみ）

2010年12月19日（日）11時～16時（以後、懇親会） 保団連会議室で開催。

（前半は各班会議、後半は全体会議、その後、懇親会を18時まで）

### (2) 参考資料

#### ①15年戦争と日本の医学医療研究会（29回）のご案内（11/23：東大）

この研究会で、金成民731部隊罪証陳列館・館長の記念講演（無料公開）が行われること。及び、同日夕刻に、中国からの訪日団を迎えての証言集会（18時～、豊島区民センター）が開催されることの紹介と参加が呼びかけられた。

#### ②米国大統領：40年代にグアマテラでの生体実験に謝罪（新聞報道記事）

（議事5の関連資料）

以上